

初秋の西神戸 ヒガンバナ・山田錦の郷を訪ねる 2014.9.18.

実りの田の畔を飾るヒガンバナ & 酒蔵の旗がはためく灘の酒米「山田錦」の郷



各地のヒガンバナの便りに 西神戸の郷の初秋を告げる「ヒガンバナ」と灘の酒米「山田錦」の里景色を眺めに出かけました。今年も西神戸では 穏やかな ゆったりとした空気が流れる里の秋町の喧騒を忘れて ゆっくりと。 毎年の西神戸の初秋の景色 またか・・・でしょうが、今年も元気に眺められるありがたさです。



毎年 西神戸から加古川沿いを北にヒガンバナの名所 多可町へ行くのですが、今年に行く道々あちこちで 田圃の畔を飾るヒガンバナをみる事ができたので、小野から来住野に出て小野町駅の蕎麦で昼食。 東に引き返して 田圃の畔に幾本もの酒蔵の旗がはためく、酒米「山田錦」の里景色を見来ました。

来住野の蕎麦の花も見られるかも?? と思いましたが、白い蕎麦の花は まだこれから・・・

取入れの準備に忙しい初秋の里 まもなく刈入れがはじまるとコスモスの花が郷を飾り、秋祭でにぎやかに。今年も西神戸では 穏やかな ゆったりとした空気が流れる里の秋 町の喧騒を忘れて ゆっくりと。毎年の西神戸の初秋の景色 またか・・・でしょうが、今年も元気に眺められるありがたさです。

1. 北の白川峠を越えて西へ向かうと里山に囲まれた布施畑の郷

近すぎて気にも留めていませんでしたが、この郷でも 田の畔に彼岸花が点々と



2. 西神戸 雌岡山麓を背にした押部谷 高和の里で

布施畑から里山沿いを西へ抜けると 雌岡山が背後にする押部谷の里
ついこの間まで見かけなかった彼岸花が 田圃の畔のそこかしこに
彼岸花と一緒に雌岡山を眺めたのは初めてか??





西神戸 押部谷 高和で 2014. 9. 18.



3. 果樹園が広がる雌岡山の麓 神出の里から 加古川に出て 小野町来住野へ

高和からまっすぐ北へ 雌岡山の麓に広がる神出の里へ

この雌岡山山麓の里では 収穫を迎えた田圃と共に山腹一杯にイチジク・ブドウ・梨などの果樹園が広がり、いつも いち早く秋の味覚を楽しませてくれる里。



思いがけず、西神戸の里で、実りの田の畔を飾る彼岸花の景色を数多く見られたので、彼岸花の名所 多可町へ行くのをやめ、来住野に出て小野町駅の蕎麦で昼食の後、東に引き返して これも西神戸 初秋の風物詩「畔に幾本もの酒蔵の旗がはためく、酒米「山田錦」の里景色」を見に行くことにしました。

来住野の丘を飾る蕎麦の花も見られるかとも思いましたが、ちょっと早かった。

4. 秋の雲のした 田の畔に酒蔵の旗が翻る 酒米の郷 三木市細川・口吉川で



小野町から加古川沿いを南へ下って、東へ万歳橋を渡って 小野市市場の街中を通り抜け、国道175号線をクロス。

三木の市街地に入り、街の中心上の丸から北東へ里山沿いを吉川・三田の方へ向かうと、ほどなく里山の間に広がるのどかな田園地帯。

山陽自動車道の高架を潜り抜けるとあちこちの田の畔に灘の酒蔵の旗が翻っている。酒米「山田錦」の里 細川町に入った。この街道筋の田はほとんどが、灘の酒蔵との山田錦栽培契約田で、畔にはそれぞれの酒蔵の旗が翻っている。以前デジカメでこの初秋の風景をデジカメで納めた地域に入った。







5. 北神戸 淡河の里で ここにも酒蔵の旗が翻っていました
口吉川から南へ里山を越えると南に丹生山の山並みが連なる北神戸 淡河の里





正面に 西神戸箕谷・山田へ丹生山を南へ越えてゆく道が見えている

6. 北神戸 丹生山 山田の里で



ちょっと街を出ると 緑の里山を背に田園が広がる西神戸の田舎では
初秋の風物詩 酒蔵の旗がはためく田に収穫期を迎えた稲穂が風に揺れ、畔には真っ赤な彼岸花
ゆったりとした時間が流れる初秋の心地よい里景色の中で 心身共にリフレッシュ

2014. 9. 18. by Mutsu Nakanishi